

# ALS患者の 「生きる権利」を 考える

—人工呼吸器という手段をめぐって—

手話通訳あり

その他、情報保障については  
お問い合わせください。

日時: 平成28年7月23日(土)

14:30-16:30(開場:14:00)

講師: かわぐち ゆみこ 川口有美子さん 日本ALS協会理事

会場: 東京都人権プラザ ホール兼視聴覚室(3F)  
台東区橋場1-1-6(裏面地図参照)

定員: 100名 参加費: 無料

公益財団法人 東京都人権啓発センター  
〒111-0023 東京都台東区橋場1-1-6  
電話 03-3876-5372 FAX 03-3874-8346

全国で約9,000人が罹患（りかん）しているといわれる難病ALS（筋萎縮性側索硬化症）は手足・のど・舌の筋肉や呼吸に必要な筋肉がだんだんやせて力がなくなっていく病気です。今回の人権問題都民講座は、患者となった母親を12年間の介護の末に看取った川口有美子さんを講師に、人工呼吸器の装着をめぐる患者本人や家族の葛藤・経験について当事者として語っていただき、また諸外国の事例なども踏まえつつ、日本の現状を参加者とシェアします。人の「生きる権利」について根源的に考えることで人権の基礎を学ぶ講座です。この機会にぜひご参加ください。

【講師プロフィール】

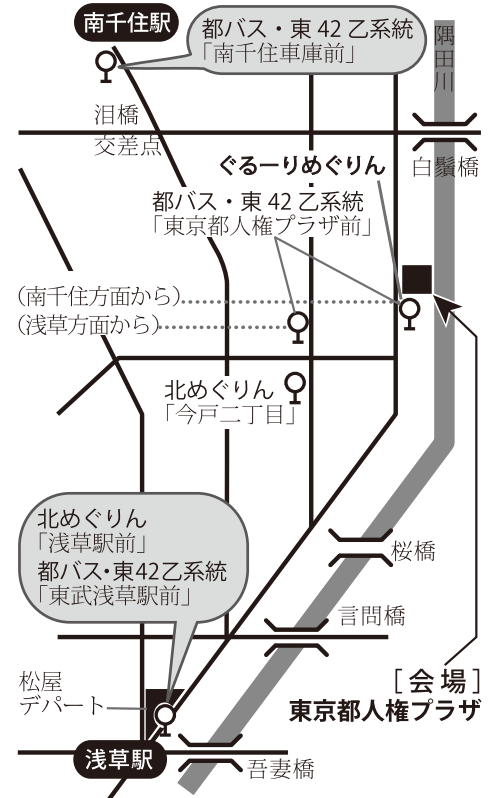


かわぐち ゆみこ  
川口有美子さん

日本ALS協会理事。1962年生まれ。母親がALSに罹患したためイギリスから帰国、実家で在宅人工呼吸療法を始める。2003年、中野区に訪問介護事業所「ケアサポートモモ」、翌年NPO法人「ALS/MNDサポートセンターさくら会」を設立。2010年自らの経験を綴った『逝かない身体』で第41回大宅壮一ノンフィクション賞受賞。2013年立命館大学大学院先端総合学術研究科博士課程修了。博士論文(改稿)『生存の技法 ALSの人工呼吸療法を巡る葛藤』で河上肇賞奨励賞受賞。

【会場案内:浅草方面/三ノ輪方面/南千住方面からのバスルート】

- 「東武浅草駅前」から南千住車庫前行き「東京都人権プラザ前」下車、約350メートル(都バス東42乙系統)。
- 「東武浅草駅前」から南千住車庫前行き、または南千住駅西口行き「東浅草(東京都人権プラザ入口)」下車、約600メートル(都バス東42甲系統)。
- 「浅草駅」から台東区循環バス「北めぐりん」6番「今戸二丁目」下車、約350メートル。
- 「三ノ輪駅」から台東区循環バス「ぐるーりめぐりん」14番「東京都人権プラザ前」下車すぐ。
- 「南千住車庫前」から浅草雷門行き「東京都人権プラザ前」下車すぐ(都バス東42乙系統)。



電話・FAX・Eメールにてお申し込みください。

お申込先 公益財団法人 東京都人権啓発センター  
 電話 03-3876-5372  
 Eメール fukyu2802@tokyo-jinken.or.jp

FAX申込みフォーム FAX 03-3874-8346

①お名前 (代表者)	参加人数	
	人	
②ご連絡先 (いずれかお選びいただき、ご記入ください。)	電話	FAX
	メール	@
③ご所属またはご住所	〒	

※お申し込みは先着順でお受けいたします。定員に達し次第締め切らせていただきます。なお、ご提供いただいた個人情報、今回の申込手続き以外使用いたしません。